

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

┃使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Belles西原 新築工事	階数	地上15F
建設地	広島県広島市安佐南区西原2丁目2	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	292 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年7月27日
敷地面積	2,916 m <sup>2</sup>	作成者	(有)Jib建築設計工舎 多森 治義
建築面積	691 m <sup>2</sup>	確認日	2017年7月27日
延床面積	6,215 m <sup>2</sup>	確認者	(有)Jib建築設計工舎 多森 治義

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 64% ③上記+②以外の 64% ④上記+ 64%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.3</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.0</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.6</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.2</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.4</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.1</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.3</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.0		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.4</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.4</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.0</p>
<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>// LED等の高効率機器の採用 // リサイクル材の使用。躯体と仕上材が容易に分別可能。//可能な限りCO<sub>2</sub>の排出を削減。</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>// 駐車、駐輪スペースの確保。</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>外壁に磁器質タイルを使用。/</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される